

令和6年6月19日

令和6年度 大阪府立福井高等学校 第1回学校運営協議会議事録

- 1 会長あいさつ
 - ・府立学校の変容について、社会と生徒層、教育課題の変容について問い続けたい
- 2 校長あいさつ
- 3 運営協議会委員・事務局員紹介
- 4 事務局より報告

資料番号	報告項目
1	学校経営計画及び学校評価
2	スクールポリシー
3	広報活動方針
4	入学者選抜・退学者数報告
5	生徒指導の状況
6	進路実績と進路希望調査
7	活動支援部方針
8	部活動加入状況
9	多文化共生プロジェクト
10	DX 加速化推進事業
11	大阪府立福井高等学校 学校運営協議会 実施要項

- 1) 中間報告時にて、校長として見えた課題を提示したい
- 2) 各ポリシーの再確認
- 3) 次年度に向けた広報活動実施中
 - 各説明会、オープンスクールのスケジュール確認
- 4) 倍率は下がっているが、実受験者数は増加
 - 退学者数について、不登校経験のある生徒の転退学者数の確認
- 5) 近隣地域からの苦情増加 巡回指導微増
 - あいさつのできる生徒増加
 - 遅刻防止対策のための取り組み
 - 身だしなみに関する指導の工夫
- 6) 38期生の進路状況確認
 - 1年時から進路を意識する授業やカリキュラムづくりの結果、実現した進路の多様さが可視化される進路結果となっている
- 7) 幅広く、ありとあらゆる分野校務において人権感覚の向上拡大を考察する

- 8) 部活度に対する府立学校としてのマインドチェンジ
- 9) 外国にルーツのある生徒家庭を含めると、60 を超えている
授業や学校生活において、原則「共生」
英語言語力を活かした、進学を中心とした進路実現の実際
- 10) DX 事業について申請受理
「アナログっぽいデジタル」をキーワードに、この授業を通じて普段の生徒支援、不登校生徒への支援一助にも活用したいと計画している
- 11) 資料の確認

5 質疑応答

(平野委員)

- ・入学者数の変遷、制度上の課題を感じる 本校を選んだ理由について、ぜひ掘んで把握していただきたい
- ・ドリカムの価値が当初のものからいい意味で変化し、身のあるものとなっている
⇒広報に活かしていただきたい
⇒多様な生徒に反映できる、同時に地域に返す、還元できる探求報告を再考してみてもどうか
- ・幅広い人権感覚に触れられる、ある意味「恵まれた」環境であることを活かして、教職員や生徒の人権感覚の拡大向上をぜひ推めていただきたい

(勝部委員)

- ・私学無償化、府立学校定員割れによる余波のなか本校に入学してきた生徒を、ぜひ大切にサポート支援してほしい

(野口委員)

- ・茨木市全体で生徒の数は減少、一方、近隣地域の府立学校は学級数増
- ・ドリカムの報告、ぜひ中学生に見せられる機会の実現をお願いしたい

(塩田委員)

- ・転学する生徒の背景理由を知りたい
⇒自分のペースにあった学校生活を送りたい生徒がボリュームゾーン

(谷本委員)

- ・下校指導時の、自転車マナーは向上傾向にある。
- ・「元気な」生徒＝フレンドリーととれる生徒のようすを感じられたが、正門でスピード落とさず下校する生徒のようすも併せて見られた
→引きつづき茨木警察と連携し、注意喚起していく。
- ・「学びのため」の指導のリンク身近な具体例を通じた指導の継続的考察
- ・中学生に、本校にある多様性を知ってもらえる連携はできないか？

(勝部委員)

- ・遠方から通学する生徒、特に大切にしてほしい
- ・DX 予算の執行計画について、ぜひ有効的執行を組織的に実施いただきたい

- ・学校の多忙化を少しでも解消するための、校外との連携や委託など積極的に行うべきであろう

⇒「楽する」でなく、校外の専門家を「頼る」、「楽」して「余裕」を作っていたきたい
(村林校長)

- ・連携をつくることによる、しんどさの考察も併せて行いたい
- ・定時退勤のできる環境づくり、教職員の意識改革の推進
- ・福井高校の土壌と風土を活かした教育集団づくり

令和6年度 大阪府立福井高等学校 学校運営協議会委員（敬称略）

番号	名 前	職 名
1	勝部 幸	元福井高校校長
2	平野 智之	追手門学院大学教授
3	野口 真代	「福井高校を育てる会」会長 茨木市立北陵中学校長
4	塩田 寛	福井地区自治振興会
5	福田 正幸	茨木市健康福祉部 支援員
6	谷本 紀子	本校PTA会長

事務局

番号	名 前	校務分掌等
1	村林 隆志	校長
2	山村 宏昌	教頭
4	曾根 康介	首席・生徒指導部長
5	水谷 雅哉	教務部長
6	川端 直子	進路指導部長
7	野村 達記	活動支援部長・地域連携主担

今後の予定 第2回 令和6年10月30日（水）10時～ [校長室]

第3回 令和7年2月5日（水）10時～ [校長室]